

# 『大統寺だより』第11号 2004(平成16)年10月 大統寺住職 渡邊宗徹合掌



《住職の一言》前号にて大統寺の入口に掲げてきた仏旗が一年弱の間に那須降しの強い風によりボロボロになり、代わりに法輪旗(左小図)を掲揚したことをお伝えしましたが、白河市新蔵町の檀家大野博・完子ご夫妻が仏旗を2つ制作して御寄贈下さいました。(左大図)早速彼岸より掲揚させて頂いております。生地も厚手の立派なもので色落ちし難い加工をしてくださっております。秋空に映えて入り口を華やかにしていただき感謝しております。

## 1. 谷文晁筆「涅槃図」の公開について

福島民報9月21日朝刊→

大統寺の寺宝「涅槃図」(お釈迦様のご臨終の様子を描いた画で、松平定信公お抱え絵師谷文晁筆)を9月19日、20日の二日間大統寺書院で一般公開しました。開催前に朝日・読売・民報・民友等の新聞に報道され、県外からも多数来られ(約300名)好評でした。この仏画は谷文晁の最高傑作と言われ、保存と盗難防止の観点から白河市民俗資料館に委託して保管中です。両日とも資料館の格別な配慮で学芸員を派遣戴き、拝観者に懇切丁寧に解説戴きました。200年前の大統寺住職活山和尚の願いに檀家さん達が資金を出し合って谷文晁師に依頼して描かしたもので、大統寺檀信徒の宝であると共に白河の宝物でもあります。白河市の文化財指定の途中で、間もなく認可されます。今後、国や県文化財の認可についてはは白河市と協議して進めることとなります。



## 2. 第一回本山(妙心寺)団体参詣旅行報告

「京都妙心寺参拝と非公開国宝重要文化財拝観と学習の旅  
(10月3日から2泊3日)」 妙心寺微妙殿で先祖供養記念写真

先に檀信徒各位にご案内した団体参詣旅行を予定通り挙行致しました。天候にも恵まれ26名の参加者は本山での先祖供養・妙心寺、知恩院及び大徳寺の非公開建造物・襖絵等の拝観研修を終えて事故もなく無事白河に戻りました。京都の味も堪能して楽しい旅となりました。



### 大統寺花園護持会からのお知らせ

大統寺前住職夫人石井八重子(神妙)氏より一部の檀家宛てに文書が送られております。内容が護持会として不可解なもの、あるいは真実でないものがあります。

現在、大統寺は新住職を迎え、檀信徒一体となって新住職を盛り立て、寺の伸展のため鋭意努力しております。この文書の件につきましては、護持会会長櫻井和朋にご連絡下さい。

(櫻井和朋 住所 〒961-0955 白河市道場町27 電話 0248-23-2297)

二伸 葬儀・法事に不便をきたしていたため、旧書院・トイレの明け渡しを5月の総会の決議に従い折衝して参りましたが、前住職夫人が一向に対応されないため役員一同立会いのもと9月16日開錠致しました。現在、トイレの漏水対策等の修繕を行っており、近日中には皆様に利用頂ける様になります。

護持会役員一同

